

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

＜市政相談連絡先＞

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

感謝の心を忘れずに活力ある地域の創造を！

4月の市議会議員選挙では、皆さまの温かいご支援を賜り6期目の当選を果たすことができました。力強いご協力、ご尽力に心から感謝申し上げます。

20年間の経験と政策理念の基、県内最大自治体の議員として、初心を忘れず、引続き全力で活動していく所存であります。

富岡市長は、大胆でスピード感のある市政運営を進めていくことを基本政策に掲げています。市民に最も身近な行政団体として、教育や子育て支援、高齢者の支え合い体制づくり、ビジネス産業の成長、地域公共交通の充実など、市民ニーズを的確に捉えたサービスが安心して提供されるよう、行政当局と市議会は住民福祉の向上に向けて共に切磋琢磨することが重要と考えています。

将来に夢と希望の持てる、市民が主役のまちづくりをさらに推進できるよう取り組んでまいりますので、これからもご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

6月市議会定例会報告

令和元年第3回市議会定例会は、6月13日から27日までの15日間の会期で開かれました。

本定例会では、請負契約締結について(浜川運動公園拡張テニスコート整備工事)、令和元年度高崎市一般会計補正予算(第2号)、人権擁護委員候補者の推薦についての議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ17億4,748万円を追加し、総額を1,716億2,601万円としました。

《 4つの特別委員会を設置 》

本市議会には4つの常任委員会が設置されていますが、さらに特定の案件を調査するために、「環境施設建設」、「防災・危機管理対策」、「都市集客施設整備」、「子育て支援・定住人口増加対策」の4つの特別委員会を設置しました。

高橋みなおは、道路・河川・住宅・公園・上下水道などを所管する建設水道常任委員会、9月開館予定の『高崎芸術劇場』や周辺整備を含む都市集客施設整備特別委員会の委員として積極的に取り組んでまいります。



六月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十人の議員が行い、高橋みなおは三日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

高浜クリーンセンター
建設事業の今後について

質問 安心で快適な生活環境確立のため、2022年度の竣工を目指して焼却施設の建設が推進されている。現在の高浜クリーンセンターは供用開始から三十年が経過しているが、近年の維持費ほどの程度か。また、新施設の概要が市民に示されるのはいつ頃になるのか。

答弁 可燃ごみ・不燃ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの三施設合計で、年間約十億八千万円の経費を要する。現在、施設全体の設計を進めているので、詳細が決まり次第お知らせしたいと考えている。

質問 昨年度、プラント設備工事の契約について議決され、建設費の総額が四百億円程度と見込まれたが、具体的な財政計画は研究されているのか。

答弁 国の交付金制度や基金を最大限活用

しながら一般財源の支出の抑制を図るともに適正な財政運営に努めたい。

質問 安全なごみ処理の継続が重要と考えるが、運営方式についての考えは。

答弁 本市が責任を果たし、長期にわたり安定して使用できる方式であることを基本的に公営方式により運営する。

質問 環境にやさしい循環型社会の形成に寄与し、地球温暖化対策も考慮した施設として位置づけられているが、どのようなビジョンで運営稼働していくのか。

答弁 資源物の有効利用や熱エネルギーの回収等を通じ、環境への理解を深める学習機能を持ち、市民の良好な生活環境を保持していくための重要な施設として運営していく。

本市における再犯防止の
取り組みについて

質問 連日の報道のとおり、児童虐待、高齢者による運転事故、8050問題など複数の困難が重なり合う深刻な課題ばかりである。地方自治体における再犯防止の取り組みも大切と考えるが、本市における刑法犯の認知件数等や再犯者率の状況は。

答弁 県警の治安統計によると、刑法犯の認知件数、検挙件数とも減少傾向にある中で、再犯率の高さは5割近い高い水準で推移しており

大きな課題となっている。

質問 犯罪のない安心して暮らせる社会の実現のためにも再犯や再非行を防止することが重要と認識している。警察や保護司との連携強化が求められているが、本市ではどのような取り組みを行っているのか。

答弁 保護司会や区長会、青少年の健全育成に取り組み多額の団体等で構成される推進委員会を設け、啓発を行う市民大会などを開催している。

質問 全国に先駆けて「群馬県再犯防止推進計画」が策定されたが、本市における見解を伺う。
答弁 現在計画は策定されておらず、県では達成目標を2023年度までとしている。各種団体等と連携し、再犯防止の充実に努めるとともに計画の必要性を精査し検討していく。

♪ 後記 ♪

昨年七月の西日本豪雨の記憶が消えない方も多いこの時期に、活発化した梅雨前線の停滞により、九州南部を中心に命の危険を感じるような記録的な大雨となりました。堤防の決壊や浸水が相次ぎ、土砂崩れで尊い命までも失われ、甚大な被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、本県では、七月二十一日に二十四年ぶりとなる知事選と参院選のダブル選挙が投票日になります。地方都市の現状、住民の声を中央へ届けるためにも大切な日であると改めて感じているのは私だけではないでしょう。